

# 確定拠出年金J-PEC個人型プラン (J-PEC個人型(A))

## ご加入にあたって ＜プランコース説明書＞

### 本説明書の位置付け

- 確定拠出年金「個人型」の制度実施内容は国民年金基金連合会が策定した「個人型年金規約」に記載されています。  
(「個人型年金規約」はご加入後に国民年金基金連合会から送付されます)
- 本説明書においては、「個人型年金規約」に基づいて運営管理機関であるJ-PECが定めた「J-PEC個人型(A)」の具体的な運用商品や給付額の算定方法等の重要な事項を記載しています。



ジャパン・ペンション・ナビゲーター

## 1. 加入資格

次のいずれかに該当する方は、個人型プランに加入することができます。

### 第1号被保険者 となる方

日本国内に居住している20歳以上60歳未満の  
自営業者とその家族、自由業、学生等  
(国民年金の第1号被保険者)

- \*ただし、以下の方は加入できません。
1. 農業者年金の被保険者
  2. 国民年金の保険料を免除されている方  
(障害年金の受給者を除く)

### 第2号被保険者 となる方

サラリーマンをはじめとする  
60歳未満の厚生年金保険の被保険者  
(国民年金の第2号被保険者)

- \*ただし、以下の方は加入できません。
1. 厚生年金基金、確定給付企業年金、  
石炭鉱業年金基金の加入者
  2. 企業型を実施する企業に勤務し、その対象となっ  
ている方

#### <個人型プランの加入対象外となる方>

国民年金の第2号被保険者であっても、公務員など共済組合の加入者、国民年金の第3号被保険者(専業主婦など)は、個人型プランに加入することができません。(かつて企業型プランに加入していた場合は、運用指図者となります)

#### <運用指図者となる方>

個人型プランでは、新たに掛金を拠出せず、企業型プランで積み立てた年金資産について、運用の指図のみ行うことが認められています。これに該当する方を「運用指図者」といいます。

## 2. 掛金

毎月の掛金額は、拠出限度額の範囲内で、ご自身で決定することができます。

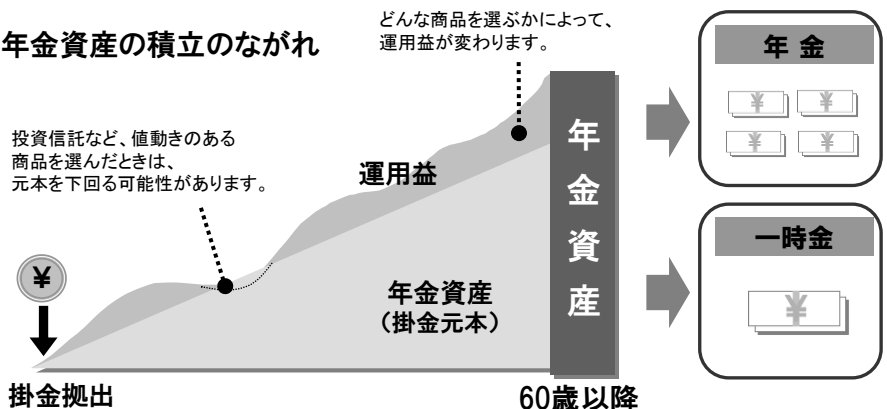
\* 掛金額の変更は、毎年4月～翌年3月までの間において、年1回のみ行うことができます。

	第1号被保険者	第2号被保険者
毎月の掛金額	5,000円以上、1,000円単位で設定できます。	
拠出限度額	月額 68,000円 (国民年金の付加保険料、または国民年金基金の掛金を納付している場合は、その金額を控除した額)	月額 23,000円
納付方法	口座振替(本人名義口座)	口座振替(本人名義口座)または 給与天引き(事業主による払込)

## 3. 運用

加入者または運用指図者が自己責任において運用を行います。プランコース商品一覧表で提示した運用商品ラインアップのなかから、運用商品をお選びいただけます。

### 年金資産の積立のながれ



## 4. 加入者レポート

毎年1回(5月上旬ごろ)、個人別管理資産額等が記載された「確定拠出年金・残高のお知らせ」(加入者レポート)が日本レコード・キーピング・ネットワーク(NRK)よりお手元に届きます。

## 5. 給付

事由に応じて、(1) 老齢給付(年金または一時金)、(2) 障害給付(年金または一時金)、(3) 死亡一時金の3種類があります。

### 年金給付の支給期間

年金給付の支給期間は、5年以上20年以内の範囲から年単位で選択できます。生命保険会社が提供する確定年金での受給の場合は、5年、10年、15年、20年の中から選択できます。また、支払保証期間付の終身年金も選択できます(ただし、障害給付金を60歳未満で受給する場合は、生命保険会社が提供する確定年金および終身年金を選択できません)。

なお、支給期間については、運営管理機関にお申し出になられた月の翌月から計算されます。

### 年金給付の支給回数

年金給付の支給回数は、次の中から選択できます。

- (1) 年1回の場合 …12月
- (2) 年2回の場合 …6月および12月
- (3) 年3回の場合 …4月、8月および12月
- (4) 年4回の場合 …3月、6月、9月および12月
- (5) 年6回の場合 …2月、4月、6月、8月、10月および12月
- (6) 毎月

### 年金給付の額

(1) 年金給付の額(年額)

お申し出になられた支給期間、および個人別管理資産額に基づき算定されます。

(2) 各支給期月に支給する年金給付の額(1回あたり)

各年金給付年度の額を年間支給回数にて按分した額となります。具体的な取扱方法については、給付請求をお申し出になられた際に、別途ご連絡いたします。

### 老齢給付金・障害給付金の支給方法

老齢給付金・障害給付金は、年金または一時金として受け取ることができます。一時金として受け取る場合は、次のとおりとなります。ただし、本請求は1回に限られます。

(1) 給付の裁定請求と同時に一時金の請求をする場合は、各運用商品ごとに任意の一時金の割合を指定することができます。具体的な取扱方法については、給付請求をお申し出になられた際に、別途ご連絡いたします。

(2) 年金給付の支給開始後5年を経過した以後の日により一時金の請求をお申し出になられたときは、お申出日の属する月の末日における個人別管理資産額の全額を受け取ります。

### 年金給付額の変更

(1) 老齢給付金(年金給付)の受給権者は、個人別管理資産額が過少になったことにより、年金給付の支給全期間にわたって受け取ることが困難となった場合は、1回に限りその額の算定方法を変更することができます。

(2) 障害給付金(年金給付)の受給権者は、5年ごとに給付の額の算定方法を変更できます。また、個人別管理資産額が過少になったことにより、年金給付の支給全期間にわたって受け取ることが困難となった場合は、その額の算定方法を変更することができます。

(3) 具体的な取扱方法については、給付請求をお申し出になられた際に、別途ご連絡いたします。

老齢給付金請求のための資料請求・お問い合わせは、NRKコールセンター(J-PEC担当)へお問い合わせください。

(フリーダイヤル) 0120-401-025 <オペレーター対応> 平日9:00~21:00/土日9:00~17:00 ※祝日・年末年始を除きます

## 6. 手数料

個人型年金に関する手数料は、加入者等にてご負担いただきます。

### 留意事項

特別な事情等により運用指図のとおり商品の買付けができない場合は、自動的にプランコース商品一覧表の一番上に掲載されている商品を買付けることとなります。(商品の売却ができない場合は運用指図が取り消しとなります。)

また、運用指図者(または加入者で掛金引落不能者)の手数料(毎年3月に個人別管理資産から充当)の充当時、および掛金の還付等が発生した場合等は、5ページに記載される「個人別管理資産額取崩し時の運用商品の売買順」により商品の売却を行います。

本記載内容は2014年11月1日現在の内容で記載されております。今後変更になる可能性がありますのでお読みください。

## 7. プランコース商品一覧表

商品区分	運用商品 カテゴリー	商品コード	運用商品名	運用会社名 (商品提供会社)
元本確保型 商品	預金	00088	三井住友銀行確定拠出年金定期預金(1年)	三井住友銀行
元本確保型 商品	預金	00002	三菱東京UFJ確定拠出年金専用1年定期預金	三菱東京UFJ 銀行
元本確保型 商品	預金	00005	三菱東京UFJ確定拠出年金専用3年定期預金	三菱東京UFJ 銀行
元本確保型 商品	預金	00008	三菱東京UFJ確定拠出年金専用5年定期預金	三菱東京UFJ 銀行
元本確保型 商品	預金	00094	三菱UFJ信託銀行確定拠出年金専用定期預金「ベストテン」	三菱UFJ 信託銀行
元本確保型 商品	利率保証型 積立生命保険	00075	ニッセイ利率保証年金(5年保証/日々設定)	日本生命保険
元本確保型 商品	積立傷害保険	00059	東京海上日動のねんきん博士・5年	東京海上日動 火災保険
投資信託	国内株式型投信	00020	インデックスファンドTOPIX(日本株式)	日興アセット マネジメント
投資信託	国内株式型投信	00033	インデックスファンド225(日本株式)	日興アセット マネジメント
投資信託	国内株式型投信	00032	年金積立 アクティブ・ダイナミクス	日興アセット マネジメント
投資信託	国内株式型投信	00046	年金積立 Jグローース	日興アセット マネジメント
投資信託	国内株式型投信	00012	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信
投資信託	国内株式型投信	01070	日興アクティブバリュー	日興アセット マネジメント
投資信託	国内株式型投信	01068	JPM中小型株・アクティブ・オープン	JPモルガン・ アセット・マネジメント
投資信託	国内株式型投信	01069	インベスコ 店頭・成長株オープン	インベスコ・アセット ・マネジメント
投資信託	国内債券型投信	00015	インデックスファンド日本債券(1年決算型)	日興アセット マネジメント
投資信託	外国株式型投信	00024	インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)	日興アセット マネジメント
投資信託	外国株式型投信	00030	年金積立 インターナショナル・グローース・ファンド	日興アセット マネジメント
投資信託	外国株式型投信	00040	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ グローース・オポチュニティーズ(年金向け)	アライアンス・ バーンスタイン
投資信託	外国株式型投信	01225	インデックスファンド海外新興国(エマージング)株式	日興アセット マネジメント
投資信託	外国株式型投信	01059	JPM・BRICS5・ファンド	JPモルガン・ アセット・マネジメント
投資信託	外国株式型投信	01186	DCニュー・チャイナ・ファンド	三井住友アセット マネジメント
投資信託	外国債券型投信	00041	インデックスファンド海外債券(ヘッジなし)1年決算型	日興アセット マネジメント

## 主な特徴

元本と利払いが預入金融機関より保証されている元本確保型の商品です。預金保険機構の対象です。金利は預入時の金融情勢に応じて決まります。
元本と利払いが預入金融機関より保証されている元本確保型の商品です。預金保険機構の対象です。金利は預入時の金融情勢に応じて決まります。
元本と利払いが預入金融機関より保証されている元本確保型の商品です。預金保険機構の対象です。金利は預入時の金融情勢に応じて決まります。
元本と利払いが預入金融機関より保証されている元本確保型の商品です。預金保険機構の対象です。金利は預入時の金融情勢に応じて決まります。
元本と利払いが預入金融機関より保証されている元本確保型の商品です。預金保険機構の対象です。取りまとめ日を満期日とする期日指定定期預金を作成します。期日指定定期は取りまとめ日に自動的に10年定期預金に振替えます。
保証期間中の利率と元本が保険会社より保証されている元本確保型の商品です。ただし中途解約した場合は元本を下回る可能性があります。保険契約者保護機構の対象です。保証利率は、預入時の金融情勢に応じて決まります。
保証期間中の利率と元本が保険会社より保証されている元本確保型の商品です。ただし中途解約した場合は元本を下回る可能性があります。保険契約者保護機構の対象です。保証利率は、預入時の金融情勢に応じて決まります。
国内株式に投資する投資信託です。ベンチマークである「TOPIX」の動きに連動する投資成果を目指して運用されています。
国内株式に投資する投資信託です。ベンチマークである「日経平均株価」の動きに連動する投資成果を目指して運用されています。
国内株式に投資する投資信託です。マクロ投資環境を分析し、様々な観点から将来のシナリオ(=モチーフ)を組み立て、モチーフの実現にふさわしい銘柄を選定し、投資機会を捉えながらあらゆる市場局面においてベンチマークの「TOPIX」を上回る投資成果を目指して運用されています。
国内株式に投資する投資信託です。ベンチマークである「TOPIX」を上回る投資成果を目指して運用されています。原則として株主還元が期待できる企業、株主資本の成長率が高い企業等の株式に投資されています。
国内株式に投資する投資信託です。ベンチマークである「TOPIX」を上回る投資成果を目指して運用されています。個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資されています。
国内株式に投資する投資信託です。ファンダメンタルズ分析とバリュエーション分析で割安と判断される銘柄に投資し、長期的に「TOPIX(東証株価指数)」を上回る投資成果を目指して運用されています。
国内株式に投資する投資信託です。ベンチマークである「ラッセル野村中小型インデックス(配当込み)」を上回る投資成果を目指して運用されています。わが国の株式の中から主にジャスダック上場株および中小型株、その他成長株を組み入れることにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
国内株式に投資する投資信託です。ベンチマークである「JASDAQ INDEX」を上回る投資成果を目指して運用されています。主として、JASDAQ市場をはじめとする新興市場上場銘柄を中心とする成長性溢れるわが国の株式等に投資を行い、投資信託財産の成長を目標に積極運用を行います。
国内債券に投資する投資信託です。ベンチマークである「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」の動きに連動する投資成果を目指して運用されています。
海外株式に投資する投資信託です。ベンチマークである「MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)」の動きに連動する投資成果を目指して運用されています。
海外株式に投資する投資信託です。ベンチマークである「MSCI-KOKUSAIインデックス(円ヘッジなし・円ベース)」を上回る投資成果を目指して運用されています。グローバルな視点で企業調査、比較を行ない、産業の先導的立場にある高い質の大型成長企業に投資されています。
海外株式(日本を含む)に投資する投資信託です。ベンチマークである「MSCIワールド・インデックス(円ベース)」を上回る投資成果を目指して運用されています。成長の可能性が高いと判断される産業セクターから成長性が高いと思われる銘柄に投資されています。
海外新興国の株式に投資する投資信託です。MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用されています。原則として為替ヘッジを行いません。
海外株式に投資する投資信託です。主としてブラジル、ロシア、インド、中国および南アフリカのいずれかで上場または取引されている株式に投資するJPM・BRICS5・マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用されています。
海外株式に投資する投資信託です。実質的に中国国内で事業展開している企業の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用されています。原則として為替ヘッジを行いません。
海外債券に投資する投資信託です。ベンチマークである「シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」の動きに連動する投資成果を目指して運用されています。

### <ご注意点>

■本資料は選定した運用商品の情報提供を目的としており、特定の運用商品の勧誘や販売行為を目的としたものではありません。■運用商品の選定に当たっては、「運用商品情報」にて各商品の内容をご確認いただいた上で、加入者ご自身の判断で選択して下さい。■本資料に掲載の運用商品の特徴等は、2014年11月1日現在の情報に基づいて作成しましたが、今後、訂正する可能性があります。

## 7. プランコース商品一覧表

商品区分	運用商品 カテゴリー	商品コード	運用商品名	運用会社名 (商品提供会社)
投資信託	外国債券型投信	01226	インデックスファンド海外新興国(エマージング)債券(1年決算型)	日興アセット マネジメント
投資信託	外国債券型投信	01062	ピクテ・ハイインカム・ソブリン・ファンド(毎月決算型) 為替ヘッジなしコース	ピクテ投信 投資顧問
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00011	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00013	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00014	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00017	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00003	年金積立 グローバル・ラップ・バランス(安定型)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00004	年金積立 グローバル・ラップ・バランス(安定成長型)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00006	年金積立 グローバル・ラップ・バランス(成長型)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00007	年金積立 グローバル・ラップ・バランス(積極成長型)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	00009	年金積立 グローバル・ラップ・バランス(積極型)	日興アセット マネジメント
投資信託	バランス型投信	01067	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	日興アセット マネジメント
投資信託	リート	01187	DCグローバル・リート・オープン	三井住友アセット マネジメント

### 個人別管理資産額取崩し時の運用商品の売買順

個人別管理資産額を取崩して手数料の支払いや還付金の返還等を行う場合、以下のカッコ内の順番で、運用商品の売却を行います。運用商品売却の結果、売却金額の合計額が手数料額や還付金額等に達しない場合は、以下のカッコ内の順序で、再度売却を行います。また、運用商品の売却で剰余が発生した場合は、当該剰余金で「三井住友銀行確定拠出年金定期預金(1年)」を買い付けます。

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| (1) 三井住友銀行確定拠出年金定期預金(1年)          | (12) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(安定型)             |
| (2) 三菱東京UFJ確定拠出年金専用1年定期預金         | (13) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(安定成長型)           |
| (3) 三菱東京UFJ確定拠出年金専用3年定期預金         | (14) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(成長型)             |
| (4) 三菱東京UFJ確定拠出年金専用5年定期預金         | (15) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(積極成長型)           |
| (5) 三菱UFJ信託銀行確定拠出年金専用定期預金「ベストテン」  | (16) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(積極型)             |
| (6) 東京海上日動のねんきん博士・5年              | (17) 財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型            |
| (7) ニッセイ利率保証年金(5年保証/日々設定)         | (18) インデックスファンド日本債券(1年決算型)                |
| (8) 年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)  | (19) インデックスファンドTOPIX(日本株式)                |
| (9) 年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)  | (20) インデックスファンド225(日本株式)                  |
| (10) 年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60) | (21) インデックスファンド海外債券(ヘッジなし)1年決算型           |
| (11) 年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80) | (22) インデックスファンド海外新興国(エマージング)債券<br>(1年決算型) |

## 主な特徴

海外新興国の債券に投資する投資信託です。JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用されています。原則として為替ヘッジを行いません。

海外債券に投資する投資信託です。主に新興国の米ドル建てのソブリン債券及び準ソブリン債券に投資し、利子等収益の確保と売買益の獲得を目指して運用されています。債券の組入比率は、原則として高位を保ちます。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

国内外の株式と債券に投資し、資産配分されている投資信託です。加入者の年齢やライフスタイルに合わせて選べます。各々の投資対象に対して、ベンチマークに連動する投資成果を目指して運用しています。

- \* 株式20：株式の比率が低め、債券の比率が高めです。
- \* 株式40：株式の比率がやや低め、債券の比率がやや高めです。
- \* 株式60：株式の比率がやや高め、債券の比率がやや低めです。
- \* 株式80：株式の比率が高め、債券の比率が低めです。

国内外の株式と債券に投資し、資産配分されている投資信託です。加入者の年齢やライフスタイルに合わせて選べます。各々の投資対象に対して、ベンチマークを上回る投資成果を目指して運用しています。

- \* 安定型：株式の比率が低め、債券の比率が高めです。
- \* 安定成長型：株式の比率がやや低め、債券の比率がやや高めです。
- \* 成長型：株式の比率、債券の比率とも中程度です。
- \* 積極成長型：株式の比率がやや高め、債券の比率がやや低めです。
- \* 積極型：株式の比率が高め、債券の比率が低めです。

国内不動産、海外債券、国内株式の3資産に分散投資する投資信託です。高いインカム収益の確保と安定した信託財産の成長を目指して運用されています。各資産への投資は、主に以下の各資産を主要投資対象とする投資信託証券を通じて行います。

- \* 不動産投信(J-REIT)、海外債券インデックス(ヘッジなし)マザーファンド、日本株式インデックス225マザーファンド、高利回りソブリン債券インデックスファンド

原則として、各資産の組入比率が以下の範囲内になるよう投資します。

- \* 不動産等：25%±20%(基本組入比率25%)、債券：50%±40%(基本組入比率50%)、株式：25%±20%(基本組入比率25%)

日本を含む世界各国に上場されている不動産投資信託(REIT)に投資する投資信託で、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用されています。原則として為替ヘッジを行いません。

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| (23) インデックスファンド海外株式(ヘッジなし)     | (31) ピクテ・ハイインカム・ソブリン・ファンド(毎月決算型)<br>為替ヘッジなしコース     |
| (24) インデックスファンド海外新興国(エマージング)株式 | (32) 年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド                      |
| (25) フィデリティ・日本成長株・ファンド         | (33) アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ<br>(年金向け) |
| (26) 年金積立 アクティブ・ダイナミクス         | (34) JPM・BRICS5・ファンド                               |
| (27) 年金積立 Jグロース                | (35) DCニュー・チャイナ・ファンド                               |
| (28) 日興アクティブバリュー               | (36) DCグローバル・リート・オープン                              |
| (29) JPM中小型株・アクティブ・オープン        |  |
| (30) インベスコ 店頭・成長株オープン          |  |

### <ご注意点>

■本資料は選定した運用商品の情報提供を目的としており、特定の運用商品の勧誘や販売行為を目的としたものではありません。■運用商品の選定に当たっては、「運用商品情報」にて各商品の内容をご確認いただいた上で、加入者ご自身の判断で選択して下さい。■本資料に掲載の運用商品の特徴等は、2014年11月1日現在の情報に基づいて作成しましたが、今後、訂正する可能性があります。

# 確定拠出年金 J-PEC個人型プラン 運用商品選定理由

商品区分	運用商品名	選定理由
元本確保型商品	三井住友銀行確定拠出年金定期預金(1年) 三菱東京UFJ確定拠出年金専用1年定期預金 三菱東京UFJ確定拠出年金専用3年定期預金 <sup>※1</sup> 三菱東京UFJ確定拠出年金専用5年定期預金 <sup>※1</sup> 三菱UFJ信託銀行確定拠出年金専用定期預金「ベストテン」 <sup>※1</sup>	商品提供会社の格付も一定以上で信用度もあることから、法令上の元本確保型商品として選定した。
	ニッセイ利率保証年金(5年保証/日々設定) 東京海上日動のねんきん博士・5年	商品提供会社の格付も一定以上で信用度もあることから、法令上の元本確保型商品として選定した。
投資信託	インデックスファンドTOPIX(日本株式) インデックスファンド225(日本株式) インデックスファンド日本債券(1年決算型) インデックスファンド海外株式(ヘッジなし) インデックスファンド海外債券(ヘッジなし) 1年決算型	リスク許容度に合わせたリスク/リターン特性を、4資産(国内株式、国内債券、海外株式、海外債券)への投資比率を調整することによって、実現させたいと考える加入者を想定して、当該運用商品の枠を設定した。日経平均225に連動するインデックスファンドは、一般的な年金運用のベンチマークではないが、知名度があり加入者のニーズも多く想定されることから当カテゴリーに含めた。選定したインデックスファンドは、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性等が、確定拠出年金用のインデックスファンドとして適していると判断した。また、加入者にとって、同じ運用会社の提供するインデックスファンドを採用した方が情報入手、商品性の理解の点で容易になると判断した。
	インデックスファンド海外新興国(エマージング)株式 <sup>※2</sup>	さらに国際分散投資への対応を実現させたいと考える加入者を想定して、エマージング諸国の株式に投資するインデックスファンドの枠を設定した。当ファンドは、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性等が、確定拠出年金用のインデックスファンドとして適していると判断し、海外エマージング株式インデックスファンドとして選定した。
	インデックスファンド海外新興国(エマージング)債券(1年決算型) <sup>※2</sup>	さらに国際分散投資への対応を実現させたいと考える加入者を想定して、エマージング諸国の債券に投資するインデックスファンドの枠を設定した。当ファンドは、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性等が、確定拠出年金用のインデックスファンドとして適していると判断し、海外エマージング債券インデックスファンドとして選定した。
	年金積立 アクティブ・ダイナミクス <sup>※1</sup>	藤原オフィス・アセット・マネジメントから投資助言を受けるなど、リサーチ体制は標準以上の評価に値する。担当ファンドマネージャーは、長期に一貫した運用を継続しており一定の信頼がおけると判断し、国内株式のアクティブファンドとして選定した。
	年金積立 Jグロース	運用プロセスにおいて、標準以上のリサーチ体制でボトムアップ運用を支えている。また、銘柄選択における基本的なポリシーは長期に一貫していると考えられる。従って、国内株式のアクティブファンドとして選定した。
	フィデリティ・日本成長株・ファンド	ファンドマネージャー、アナリストは、徹底した実力主義を通して質が高く、活動も積極的である。国内株式のアクティブファンドとして高いレベルであると判断した。従って、国内株式のアクティブファンドとして選定した。
	日興アクティブバリュー <sup>※2</sup>	日本株式の中から割安な銘柄に投資するアクティブ運用の投資信託であり、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性、商品性等が確定拠出年金用のファンドとして適していると判断し、国内株式のアクティブファンドとして選定した。
	JPM中小型株・アクティブ・オープン <sup>※1</sup>	主にジャスダック上場株および中小型株等の日本株式に投資するアクティブ運用の投資信託であり、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性、商品性等が確定拠出年金用のファンドとして適していると判断し、国内株式の中小型株アクティブファンドとして選定した。
	インベスコ 店頭・成長株オープン <sup>※1</sup>	主にジャスダックをはじめとする新興市場銘柄を中心とする日本株式に投資するアクティブ運用の投資信託であり、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性、商品性等が確定拠出年金用のファンドとして適していると判断し、国内株式の小型株アクティブファンドとして選定した。
	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	調査体制は充実、投資意思決定にもそれが反映されている。ボトムアップ運用の歴史も長いことから、一貫性についても一定以上の信頼が置けると判断する。従って、海外株式のアクティブファンドとして選定した。



商品区分	運用商品名	選定理由
投資信託	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金向け)	個別企業リサーチのレベルは高い。それが銘柄選定に集約され、運用プロセスは一定以上の評価レベルにある。従って、海外株式のアクティブファンドとして選定した。
	JPM・BRICS5・ファンド <sup>※1</sup>	BRICS諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国および南アフリカ)の企業の株式に投資するアクティブ運用の投資信託であり、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性、商品性等が確定拠出年金用のファンドとして適していると判断し、海外エマージング株式アクティブファンドとして選定した。
	DCニュー・チャイナ・ファンド <sup>※2</sup>	主に中国・香港の株式に投資するアクティブ運用の投資信託であり、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性、商品性等が確定拠出年金用のファンドとして適していると判断し、海外エマージング株式アクティブファンドとして選定した。
	ピクテ・ハイインカム・ソブリン・ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなしコース <sup>※1</sup>	主にエマージング諸国の米ドル建てソブリン債に投資するアクティブ運用の投資信託であり、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性、商品性等が確定拠出年金用のファンドとして適していると判断し、海外エマージング債券アクティブファンドとして選定した。
	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20) 年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40) 年年積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60) 年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)	自分のリスク許容度に合ったリスク/リターン特性を比較的容易に形成できるように、選択スイッチング型でパッシブ運用を行うインデックス型ライフスタイルファンドの枠を設定した。当ファンドは、運用プロセスにおいて資産配分の決定方法が一定のルールに従って決められており、リバランスのルールも明確に決められている。そのため安定的な運用が期待できると判断した。各加入者のリスク許容度を考慮して4ファンドの資産配分モデルを決定しているため、「株式20」、「株式40」、「株式60」、「株式80」からなる4ファンドとも、インデックス型ライフスタイルファンドとして選定した。
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス(安定型) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(安定成長型) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(成長型) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(積極成長型) 年金積立 グローバル・ラップ・バランス(積極型)	上記のインデックス型ライフスタイルファンドに加えて、アクティブ運用を望む加入者を想定し、当該運用商品の枠を設定した。当ファンドは、資産配分においては、意思決定の組織体制が整っており、経済市況動向の調査体制も充実している。運用アドバイザーの調査、および採用アドバイザーのモニタリングは精緻に行われており、高い信頼が置ける。選定基準も明確である。そのため、各個別資産ごとの運用も高いレベルが期待できる。各加入者のリスク許容度を考慮して5ファンドの資産配分モデルを決定しているため、「安定型」、「安定成長型」、「成長型」、「積極成長型」、「積極型」からなる5ファンドとも、アクティブ型ライフスタイルファンドとして選定した。
	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型 <sup>※2</sup>	さらなる国際分散投資への対応を実現させたいと考える加入者を想定して、不動産投信への投資を含むバランスファンドの枠を設定した。当ファンドは、主に不動産投信、債券(海外債券)、国内株式に投資する投資信託であり、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性、商品性等が確定拠出年金用のファンドとして適していると判断し、バランスファンドとして選定した。
	DCグローバル・リート・オープン <sup>※2</sup>	さらなる国際分散投資への対応を実現させたいと考える加入者を想定して、不動産投信への投資を行うグローバル・リートアクティブファンドの枠を設定した。当ファンドは、日本を含む世界各国の不動産投信に投資するアクティブ運用の投資信託であり、運用体制、運用プロセス、運用の一貫性、商品性等が確定拠出年金用のファンドとして適していると判断し、グローバル・リートアクティブファンドとして選定した。

### <商品選定の考え方>

全運用商品に共通する商品選定の基準は、①長期安定的な運用、②安定的な組織・運用プロセスの確立 ③商品性、ベンチマーク、リスクの所在等が加入者にとってわかりやすい、などである。

運用商品については、定性評価、定量評価を通して、上記の内容を満たすかどうかを精査した。

商品選定においては、運用会社の運用力のみならず、国内投信市場での実績、情報提供能力、システム対応などを含めた、確定拠出年金対応力を多角的に調査した。

### <ご注意点>

本選定理由は2003年3月1日現在(※1については2006年10月13日現在、※2については2011年4月30日現在)の情報に基づいて作成しましたが、今後、訂正する可能性があります。

J-PECでは、みなさまが運用商品の選択をされる際の目安となるよう、各運用商品を独自のカテゴリーに分類して表示しております。なお、投資信託につきましては投資信託協会の分類とは異なりますのでご注意ください。

商品区分	運用商品カテゴリー	定義
元本確保型商品	預金	銀行等で提供する預金
	利率保証型積立生命保険	一定期間一定の利回りが保証される積立型の生命保険商品
	積立傷害保険	一定期間一定の利回りが保証される積立型の損害保険商品
投資信託	国内株式型投信	国内株式を主な投資対象とし、組入れ比率を高位に維持する投信
	国内債券型投信	国内債券を主な投資対象とし、組入れ比率を高位に維持する投信
	外国株式型投信	外国株式を主な投資対象とし、組入れ比率を高位に維持する投信
	外国債券型投信	外国債券を主な投資対象とし、組入れ比率を高位に維持する投信
	バランス型投信 (ライフサイクル型投信)	株式・債券資産の両方を投資対象とし、組入れ比率を高位に維持する投信
	その他投資信託	主に、株式・債券資産以外を投資対象とする投信

(注)本表は当社の運用商品のカテゴリー全体を一覧にしたもので、ご加入されるプランコースによっては該当商品のないカテゴリーもあります。

運用商品をお選びの際は、  
「運用商品説明資料」を確認してみましょう

## 基本属性編

商品のしくみや内容などが記載されています

### ◆ 投資信託の主なチェックポイント

<b>投資方針</b> 何に投資するか、何を指すか	<b>主要投資対象</b> どの資産、エリアに投資するか
<b>ベンチマーク</b> 運用成果のものさし	
<b>信託報酬</b> 保有期間中の手数料	<b>信託財産留保額</b> 購入時・売却時のコスト



運用商品の基本的なしくみについては、テキスト「投資ナビゲーター」も合わせてご参照ください。

**実績データ編（元本確保型商品）**

※実績データ編は封入されていない場合があります。

**直近の利率のほか、過去の推移を確認することができます**

**積立生命保険の場合**

**基準日・基準月**  
預金は基準日、保険は基準月が記載されています。

**過去実績**  
過去の適用利率・保証利率の推移が確認できます。  
※預金は月末データを掲載  
※保険は月単位で掲載



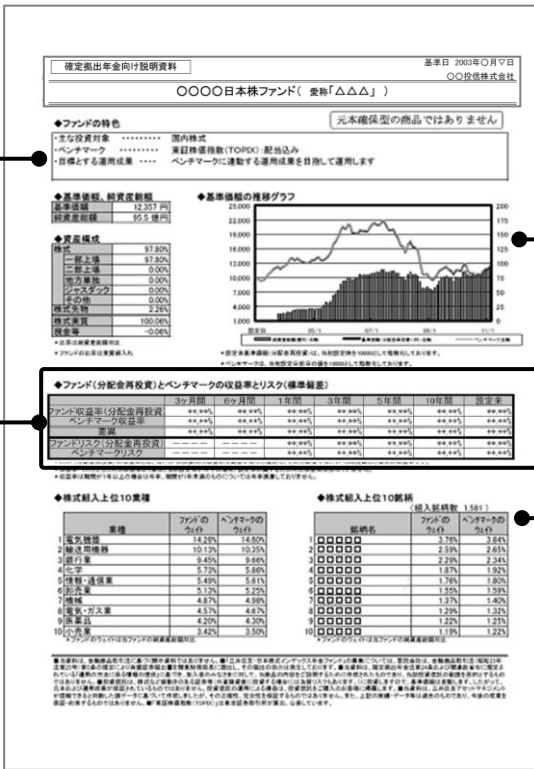
**実績データ編（投資信託）**

※実績データ編は封入されていない場合があります。

**ファンドの特色、基準価額の推移、各期間のリターンなどが確認できます**

**ファンドの特色**  
投資対象やベンチマークなどが記載されています。

**ファンドとベンチマークの収益率**  
期間ごとにリターン(収益率)やリスクの大きさが記載されています。



ご加入後は、専用WEBサイトで  
資産残高や運用状況などを確認することができます

確定拠出年金の加入者のみなさまは、情報提供を中心とした「DCなび(J-PEC WEB)」と、  
各種取引やお手続きを中心とした「NRK WEB」の2つのWEBサービスをご利用いただけます。

- \* ご利用の際は、「ユーザーID」と「暗証番号」が必要になります。
- \* 詳しいご利用方法は、スターターキットに同封されている「ユーザーズガイド」をご参照ください。

## J-PEC加入者サイト「DCなび」(残高照会・運用商品情報など)

アクセス

<https://www.j-pec.co.jp/login-n/>

- 資産残高や運用状況を確認したいとき
- 運用商品の最新情報を知りたいとき
- ライフシミュレーション、マネーシミュレーション  
を利用したいとき

J-PEC(ジャパン・ペンション・ナビゲーター)は、運用商品に関する情報提供をはじめ、加入者のみなさまの総合的な窓口としての業務を行っています。J-PECの加入者サイト「DCなび」(J-PEC WEB)では、情報提供やシミュレーションに関わるメニューをご用意しています。

## NRK WEB (運用商品の変更・各種お手続きなど)

アクセス

「DCなび」からジャンプします

\* <https://www.nrkn.co.jp/rk/login.html>からの  
アクセスも可能です。

- 運用商品を変更したいとき
- 積立金の残高、評価額を照会したいとき
- 氏名や住所などの登録情報を確認したいとき

NRK(日本レコード・キーピング・ネットワーク)は、残高管理  
や運用商品変更の取りまとめ、給付裁定といった加入者の  
記録関連業務を行っています。